



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

「覚悟」

五十嵐 浩子



〔略歴〕
東日本大震災で被災し、震災の年五月に高山へ。被災者同士の交流の場をつくる等、震災の体験、防災の大切さを伝える活動をしている。

震災の翌日、自宅近くの浪江中学校に避難していた私は、町の防災無線から「福島第一原子力発電所から放射能漏れの恐れがあるため、避難してください」というアナウンスを聞き、「念のため」「とりあえず」という思いで避難をすることにしました。そして、二、三日で終わると思っていた避難生活を始めてから五年が経ちました。

私の生まれ育った町は大熊町という、福島第一原子力発電所が立地している町でした。結婚し、主人の育った浪江町に嫁いで五年目に震災に遭いました。今年で高山に避難して五年目を迎えます。同じ五年という月日の流れがこんなにも違って感じられるものなのかと驚

くばかりです。縁あって高山市に避難し「みちのく結心会」という被災者のコミュニティを繋ぐ会の代表をさせていただいております。結成当初は被災者同士の交流会が中心でしたが、次第に「頂いたご恩をどうすれば少しでも返していけるのだろう」という共通の思いが生まれ、自らの震災の体験、被災地の現状、経験を生かした防災の啓発活動をするようになりました。また、飛騨高山の野菜を寄付していただき、福島県渡利地区に暮らす友人を介して、約十世帯の家族に届ける活動もしています。渡利地区は福島第一原子力発電所から約六十キロ離れていますが、事故の影響で放射線量が高い

事故を起こした福島第一原子力発電所が「アンダーコントロールされている」と世界に向けて発信した方もいました。現状は、どうなのでしょう。いったい何が真実なのか、凡人の私には計り知ることができませんが、一つでも多くの情報を集め、自分の信念を持ち、判断していききたいと思えます。

私の暮らしていた浪江町川添地区も、来年の三月に避難指示が解除され、帰還できる見込みです。しかし、我が家から約十キロ先には福島第一原子力発電所があります。どんなに、除染しコントロールしているので安全だ、帰還できると言われても、あの日、絶対安全と言いながら想定外だったと事故を起こし、パニックを避けるために正しい情報を公開せず私たちが被ばくさせたこと。救助できなかったかもしれない沿岸部の人たちを見殺しにした事実。助けることのできたであろう、人以外の生き物の命を切り捨てたこと。私は忘れません。また、万が一再び、想定外な出来事があった時、あの時と同じように真実は隠されてしまうのではないかと考えると、可愛い我が子と訴える方もいます。どうしてそう思ったのか、

震災後の五年という月日は私から多くのモノを奪い、また逆に与えてもくれました。住む土地、仕事、言葉などの環境が変わり、母、祖母、愛犬たちとの別れもありましたが、たくさんのご縁と出会い、優しさに触れ、人として大きく成長できた様に思います。震災がなければと幾度となく思う中で、それでも震災がなければ今の自分は在り得ないとさえ思えてくるのです。

これからも、大切な我が子を守るため、未来ある子どもたちを守るため語り継いでいきたいと思えます。

飛騨の真宗

御坊さまの鐘 ② 伝承散歩

天明四(一七八四)年、高山の町で大火事が発生し、二千三百軒以上が焼け、六千四百人以上の被災者を出しました。現在の上一町あたりから出火し、古い町並、空町、大新町あたりまで焼かれる大規模なものでした。その際に照蓮寺(高山別院)及び周辺の寺院も焼け落ちてしまいました。

ご門徒や町の人々から「御坊さまの鐘の音がないのは寂しい限り。鐘の音は聞きたいもんや」と声が上ががり、翌年から寄付が始まりました。少しずつでも、と多くの人々から寄付や金属の寄進があり、大層立派な鐘が出来上がりました。

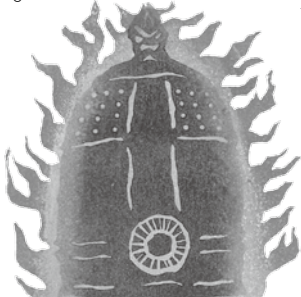
その音色は素晴らしく、二里(八キロ)四方は十分響くと言われ、本当に清く澄んだ音色でした。周辺の村の人々は朝の音色を聞いて高山の町へ赴き、夕の音色に送られ帰路へとつきました。

明治八(一八七五)年、現在の下の二町あたりから出火し、千軒以上が焼

ける大火事が発生しました。その火も別院及び周辺寺院まで及びました。

誰ともなしに「本堂の畳を鐘楼の鐘の下に積み」という声が起こりました。鐘楼は焼け落ちましたが、鐘は積んだ畳の上へ落ちました。熱を帯びていた鐘は、積まれた畳をじりじりと焼き、畳の中へ沈んでいきました。しかし再建後、再びその鐘についてみると、以前と変わらぬ美しい音色を響かせました。

この鐘は先の大戦時に供出され、その姿を兵器に変えていくこととなってしまいました。多くの人々の心がこもっており、生活にも根付いていた鐘の音を、もう聞くことができないことが惜しまれます。



おしなま
くもみきり

問 お墓への納骨は、いつまでにはあるのかな？寂しいし、しばらくお内仏に置いておきたいと思うんやけど。

答 お墓への納骨は、忌明け(お盆)後、ご家族で相談して行いますが、いつまでにするかは本人の意思です。大切な人のお骨は、いつまでも形見として、そばに置いておきたいお気持ちをよく分かります。しかし、形あるものとは、いつかは別れていかねばなりません。そして、お内仏は本来、お骨を安置するところではありません。

私たちの目には見えませんが、木像や絵像、名号となつて表現され、浄土の世界がかたどられているのがお内仏です。阿彌陀仏は無量寿仏ともいわれるように、私たちもまた、このはかりなき寿(いのち)の世界に帰るのです。納骨とは、今まで遺骨という形見と共にあったお念仏から、お念仏という「ただこのことひとつ」の形見をいただく歩みが始まる儀式と言えるかもしれせん。亡き人との別れという悲しみ、寂しさを縁としてお念仏が申され、そのお念仏の中に、いつまでも出遇い続けるという歩みが願われています。



☎テレホン法話(0577)34(2313) ○3月21日〜31日:上清水信男氏「西蓮寺」 ○4月1日〜10日:長谷頭信氏「蓮光寺」 ○4月11日〜20日:三木朋哉氏「淨福寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

家庭で読む

女と男の

ナムアミダブツ ⑫

藤場 芳子



お おむつ替え
だんだん父に
なっていく

イクメンの始まり

イクメンという言葉が新聞などでよく目にするようになりました。「積極的に育児をする父親」という意味で使われていますが、どのようになされたのでしょうか。実は広告代理店・博報堂社員の有志(父親五名、母親二名、独身女性一名)が二〇〇六年に「イクメンクラブ」という任意団体を結成したのがきっかけでした。翌年に「育児するいい男を、イクメンと呼ぼう」というメッセージを作って男性への応援サイトを立ち上げました。それ以前には厚生労働省が「育児をしない男を、父とは呼ばない」、内閣府が「私は、いくじなしの父でした」というキャッチコピーを打ち出しましたが、叱られているみたいだったからでしょうか、あまり浸透しませんでした。

「手伝うよ」

なぜイクメンという言葉が生まれ

たのかと言えば、これまで男性が家事や育児をしてこなかったから

です。女性がするものと思われてきたので、イクウーマンという言葉がないのは当然と言えは当然のこと。あの男性がこんなことを話してくれました。「ゴミ出しを手伝うよ」と妻に言ったら怒られた。せつかく言ったのに怒られたらたまらん」。なぜ彼が怒られたかわかりますか。手伝うという言葉には、本来自分の仕事ではないけれど、という意味が暗に含まれています。妻はそれにピンときて怒ったのです。家事・育児・介護は気が向いたからとか、時間に余裕があるからするのではなく、待たなしの仕事です。核家族が多い中で、出産後につづくなる女性がが増えていくのはうなずける気がします。

父になる

映画『そして父になる』は産院で赤ちゃんが取り違えられた二組の家族の話です。六歳になった息子を本来の親に戻すかどうか葛藤する父親を福山雅治とリリー・フランキーが好演しています。電気店を営んでいるリリーは妻とケンカしながらも子ども達と楽しそうに暮らしています。一方、エリートサラリーマンの福山は子育てを妻にまかせついで、家庭は冷え冷えとしています。映画ですからわかりやすく描かれていますが、実際の家庭はこんなに単純ではありませんね。今回の句は「おむつ替え だんだん父になっていく」です。男性の育児取得率はたった二・三パーセント。おむつを替えたいと思っても長時間労働やサービスマン、単身赴任になれば難しいのが現状です。だからこそ父親は悩んでいるのだと思います。

見えてくること

男性たちからこんなことを聞いたことがあります。「乳母車を押して町を歩いてみると道路には段差が多くて歩きにくいことがわかった」「外出先で子どものおむつを取り替えようとすると、男性用トイレには赤ちゃん用ベッドを置いていない所がほとんど」「うちの子はアトピーで寝つくまで体が温まって痒くなるので、一晩中抱っこしていたことがある。アレルギーについて調べたけど、男同士でこういう話をして乗っかってないね」と。育児に関わることでもこれまで気にならなかったことが見えてきたというわけです。女性たちが具体的な生活の中で悩んだり困ったりしていることを共有できる男性が増えたら、孤独な子育てから二人で助け合う子育てになるのではないのでしょうか。

イクメンとは

最近の新聞に「日本は世界一夫が家事をしない国」という記事が紹介されていました。子どもがいる夫婦の家事分担率は各国比較で最低の一八・三パーセントだとか。この数字を見ると、日本のイクメンはまだ始まったばかりだと言えます。オムツを替えたり、子どもに絵本を読んだりすることが特別なことではないと認識されるようになった時、流行語としてのイクメンはその使命を終えるのではないのでしょうか。家事や育児を通して互いに率直に話し合う事ができたら、イクメンは「父親になっていく」だけではなく、「夫婦になっていく」ということにもつながっていくと思います。

次回は酒井義一さんの「私を照らすひかりの言葉⑬」です。

春の彼岸会・永代経法要

3月23日(水)まで
午後1時から勤行・法話
20日(日)白川 壽磨氏
21日(月)三本 昌之氏
22日(火)四衢 亮氏
23日(水)出雲路善公 輪番

高山別院 蓮如忌法要

日時 3月25日(金)
午後1時から
内容 お勤め、法話
講師 林 憲淳氏
(大垣教区寶光寺)
講題 「心中をひるがえす」
ぬくもりのある
出会いを求めて

初まいり式

日時 4月17日(日)
午前10時から11時
対象 3才以下の
お子さま
参加費 3000円
(記念品代込)

公開学習会

日時 4月11日(月)
午後7時半から
会場 高山別院
御坊会館
講師 海 法龍氏
(東京教区長願寺)

内容 歎異抄第七章
聴講料 500円
主催 高山二組若声会

本山(京都東本願寺)行事のご案内

御本尊還座式

3月31日(木) 13時30分から
宗派ホームページ(<http://www.higashihonganji.or.jp>)にて還座式インターネット中継があります。

春の法要 4月1日(金)〜3日(日)

飛騨御坊 御遠忌通信 ②

施工業者が決定しました 別院屋根葺き替え工事

別院本堂御修復の第一期工事、屋根葺き替え工事について、去る二月三日、施工業者選定のための六社による入札が行われ、再入札の結果、最低価格であった(株)中村社が落札しました。
落札価格は八六、〇〇〇、〇〇〇円(設計見積価格・八八、五二八、〇〇〇)【共に税抜】。今後諸手続きを経て今月中に正式に契約がなされ、四月着工予定です。

(株)中村社

本社：愛知県一宮市城崎通七丁目四番地三
創業：天禄元年(西暦九七〇年)
法人設立：昭和二十三年十二月二十三日
資本金：一億円
代表取締役会長：刀根健一
代表取締役社長：加藤雅康
親会社：(株)金剛組※平成十九年九月、高松建設を中心とする
GWA (Green Wood Alliance) 参画。

高札立柱式 いよいよ歩みだします

三月三日、二〇一九(平成三十一)年五月十日〜十二日に厳修が決定した飛騨御坊御遠忌をお知らせする高札の立柱式が、別院山門前において執り行われました。約七十人の方に参列をいただき、まず高札の除幕が行われ、その後御遠忌委員会委員長の窪田哲氏、高山別院輪番の出雲路善公から挨拶がありました。

この度の高札については、本体の製作、寄付を本母町の石田幹雄氏(真蓮寺門徒)に、文字の筆耕を石浦町の上野潔氏(本教寺門徒)にしていただき、立派な高札を立柱することができました。

お願い

四月中旬予定の工事着工に伴い、境内に工事車両が出入りするなど別院へお越しの皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

